

# 区議会レポート

# 58号

2019年9月19日発行

発行

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137



葛飾区議会議員

## かわごえ誠一

本号の内容

表面：区議会第三回定例会報告

裏面：台風15号鋸南町視察報告

## 葛飾区議会第三回定例会開会

◆9月12日から10月11日までを会期として葛飾区議会第三回定例会が開会しました。今定例会では補正予算27億2千3百万円が計上されました。その一部をご紹介します。国際交流費で携帯型翻訳機購入費（窓口配備用）210台分として1千4百万円、児童福祉費で保育所整備費や10月以降の保育園無償化の補助などを含む私立児童福祉施設措置等経費3億7千9百万円、また、認証保育所運営助成等経費3億1千3百万円、区画街路4号線（四つ木東地区）の都市計画道路整備事業経費としての用地取得費として2億8百万円などが計上され、所管の常任委員会で審議されます。

### ■かわごえ誠一区政一般質問■

◆本会議初日12日に区政一般質問が行われ、かわごえ誠一が登壇しました。概要を報告します。

◆1問目に「葛飾区の外国人支援・多文化共生施策の推進について」として多文化共生にむけての体制強化や、新小岩駅ビルへの窓口設置、関係団体の情報交換、日本語ボランティア派遣などにつ

いて質問をしました。2問目に「保育園等の災害対策について」として保育園の災害対策、緊急時の連絡体制の他、避難所での

乳幼児の支援についてなどをうかがいました。3問目に「葛飾区教育振興基本計画達成に向けて」として塩澤教育長の7年間の任期の総括と教育振興基本計画実現に向けて、ICT環境の整備、地域の実情に合わせた学校改築の推進、総合教育センターの体制整備、PTAへの支援などについて質問をしました。答弁の詳細は後日ご報告します。

### ■決算審査特別委員会■

◆この第三回定例会では決算審査特別委員会が設置され、4つの分科会に分れ平成30年度葛飾区決算が審査されます。審査結果は後日ご報告します。



### かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

[www.kawagoeseiichi.com](http://www.kawagoeseiichi.com)

日々の活動はFacebookをご覧ください。

### かわごえ誠一プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住31年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会、小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、保田しおさい学校、三番瀬保全活動などに携わる。  
●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●本田消防団第四分団員 ●葛飾区ボッチャ協会会長 ●元都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●かつしか区民連合幹事長 ●現区議会所属：議会運営委員会／総務委員会／地域活性化対策特別委員会

# 緊急報告 台風 15 号千葉県鋸南町支援について

◆9月8日未明に来襲した台風15号により区内でも街路樹の倒木41本やカーブミラーや道路標識の破損、民家の屋根の破損などの被害が発生しました。◆この台風15号では千葉県各地では大きな被害が発生しました。被害の全貌はまだ見えない状況ですが、一日も早い復旧を願います。被害の大きかった鋸南町には葛飾区立保田しおさい学校があり、多く



特に被害が見られなかった保田しおさい学校校舎



台風で倒れた玄関奥の木

のご心配の声をいただきました。保田しおさい学校でも停電し、9日夜までに全児童が保護者に引き渡され、帰京し自宅待機となりました。

◆かわごえも14日(土)と16日(月)に保田しおさい学校と町内の状況を確認してきました。学校玄関奥の木が倒れていたり屋上のフェンスの破損が見られましたが、学校施設に大きな被害はありませんでした。保田しおさい学校は停電が解消し、17日の朝には子どもたちは区役所前からバスで帰校し、学校生活に戻りました。

◆学校の裏の農家の温室の他、鋸南町各地の店舗や住宅などに被害



ガラスが割れたしおさい学校の裏の農家の温室



ブルーシートで補修された家屋が多数

が各所に見られ、今回の災害の大きさを実感しました。

◆葛飾区の鋸南町への支援としては塩澤教育長から町役場に連絡を取り、13日に葛飾区から土嚢袋、ブルーシート、ロープなど救援物資を届けました。また、葛飾区職員労働組合の皆さんが16日から19

日まで鋸南町役場で炊出しを行い、多くの方が訪れていました。鋸南町の白石町長も「台風の後、皆カップラーメンばかりでしっかりした食事を取っていなかったのがありがたい」と話されていました。

◆現在、被災地各地で社会福祉協議会などのボランティアセンターを中心にボランティアの募集が行われています。各自治体で募集状況が異なりますので、ホームページなどをご確認下さい。

◆今後、被害状況が明らかになるにしたがって、現地では求められる支援が変わってきます。葛飾区としても情報収集し、支援体制の整備や、将来の災害時協定の検討をするうに求めていきたいと思ひます。

◆また、今回の台風で、風害や大規模停電、情報の途絶など新たな課題が見えてきました。今後葛飾区の災害対策も見直しを進めて行きます。※タウンミーティング、行政視察などの報告は次号以降に掲載致します。



区の救援物資輸送車 (区 Facebook より)



雨の中葛飾区職員の炊出しに並ぶ鋸南町の住民



炊出しテントを訪れた鋸南町町長 (左)



町役場正面玄関の災害掲示板に貼り出されていた情報



サービスエリアに集まる電力会社の作業車両